

1.	①	11.	④	21.	②	31.	③	41.	①
2.	①	12.	②	22.	②	32.	①	42.	①
3.	①	13.	①	23.	④	33.	④	43.	①
4.	③	14.	①	24.	②	34.	①	44.	②
5.	③	15.	③	25.	①	35.	④	45.	③
6.	④	16.	②	26.	③	36.	④	46.	③
7.	③	17.	①	27.	①	37.	②	47.	①
8.	②	18.	①	28.	②	38.	②	48.	①
9.	④	19.	③	29.	②	39.	②	49.	④
10.	①	20.	③	30.	②	40.	④	50.	①

1.

解答 ①

【解説】

正解は①の **push out** で、「(内側から外側へ) ～を押し出す、追い出す」という意味を表します。物理的に何かを押し出す場合にも、比喩的に市場などから競争相手を追い出すような場合にも使われます。②の **push on** は「(困難にもかかわらず) 前進し続ける」、③の **push over** は「～を押し倒す」、④の **push through** は「(反対などを押し切って) ～を通過させる、やり遂げる」という意味です。

◆補足：`out` が「外へ」という意味を持つことから、`push out` は「押して外へ出す」というイメージで理解すると分かりやすいでしょう。例文: `The new leaves push out the old ones.` (新しい葉が古い葉を押し出す)。

2.

解答 ①

【解説】

正解は①の **nest** で、鳥や昆虫などが卵を産んだり、子どもを育てたりするために作る「巣」のことを指します。②の **net** は「網」、③の **rest** は「休憩」、④の **neck** は「首」という意味です。特に **nest** と **net**、**rest** はスペルや発音が似ているので、書き間違いや聞き間違いに注意しましょう。

◆補足：動詞として「巣を作る」という意味で使われることもあります。例: `Birds nest in trees.` (鳥は木に巣を作る)。また、比喩的に「居心地の良い場所」や「巣窟」といった意味で使われることもあります。

3.

解答 ①

【解説】

正解は①の **believe** で、「～を信じる」という意味の最も一般的な動詞です。人や言葉、考えなどが正しい、あるいは真実だと考えることを表します。②の **receive** は「～を受け取る」、③の **relieve** は「(苦痛など)を和らげる、安心させる」、④の **behave** は「ふるまう」という意味です。スペルが似ている動詞は混同しやすいので、それぞれの意味を正確に覚えておくことが重要です。

◆補足：名詞形は **'belief'** (信念、信じること) です。 **'believe in ...'** は「…の存在や価値を信じる」という、より強い信念を表します。例: **'I believe in his ability.'** (私は彼の能力を信じている)。 **'I can't believe it!'** は「信じられない!」という意味で、驚きを表す定番のフレーズです。

4.

解答 ③

【解説】

正解は③「優しい、穏やかな」です。 **'gentle'** は形容詞で、「(性格・態度が) 優しい、穏やかな」ことや、「(動き・風・傾斜などが) 緩やかな」ことを表します。 **'Be gentle with the puppy; it's still very young.'** (その子犬には優しくしてあげて。まだとても小さいから)。①「寛大な」は **'generous'**、②「天才」は名詞の **'genius'**、④「一般的な」は **'general'** です。

◆補足：副詞形は **'gently'** (優しく、穏やかに) です。 **'He gently closed the door.'** (彼は静かにドアを閉めた)。 **'a gentle slope'** (なだらかな坂)。

5.

解答 ③

【解説】

正解は③の **'hide'** で、自動詞として「隠れる」、他動詞として「～を隠す」という二つの意味を持ちます。 **'Let's hide somewhere before he finds us.'** (彼に見つかる前にどこかに隠れよう)。 **'She hid the present in the closet.'** (彼女はプレゼントをクローゼットの中に隠した)。他の選択肢は、① **'hold'** が「～を持つ」、② **'ride'** が「～に乗る」、④ **'side'** が「側面」という意味です。

◆補足：**'hide'** の活用は **'hide - hid - hidden'** と不規則に変化します。過去分詞の **'hidden'** は「隠された」という形容詞としてもよく使われます。 **'a hidden message'** (隠されたメッセージ)。 **'hide-and-seek'** は「かくれんぼ」です。

6.

解答 ④

【解説】

正解は④の`arrest`で、警察が容疑者を「～を逮捕する」という意味の動詞です。`He was arrested for shoplifting.`（彼は万引きで逮捕された）。他の選択肢は、①`rest`が「休む」、②`invest`が「投資する」、③`detest`が「～をひどく嫌う」という意味です。

◆補足：`arrest`は名詞として「逮捕」という意味でも使われます。`He is under arrest.`（彼は逮捕されている）。`a house arrest`（自宅軟禁）。

7.

解答 ③

【解説】

正解は③の`rarely`で、「めったに～ない、まれにしか～ない」という意味の副詞です。頻度が非常に低いことを表す否定語なので、文中に`not`は不要です。`She rarely goes out on weekends.`（彼女は週末にめったに外出しない）。他の選択肢は、①`really`が「本当に」、②`merely`が「単に」、④`fairly`が「かなり」という意味です。

◆補足：`rarely`は`seldom`や`hardly ever`とほぼ同じ意味で、文中で動詞の前（be動詞・助動詞の後）に置かれることが多いです。形容詞形は`rare`（珍しい、まれな）です。`a rare opportunity`（まれな機会）。

8.

解答 ②

【解説】

正解は②の`resident`で、特定の場所に住んでいる「居住者、住民」を意味します。`Local residents are protesting against the construction of the new factory.`（地元の住民たちは新しい工場の建設に抗議している）。他の選択肢は、①`president`が「大統領、社長」、③`respondent`がアンケートなどの「回答者」、④`residence`が「住居、邸宅」という意味です。

◆補足：形容詞形も`resident`で「居住している」という意味です。動詞は`reside`（住む）。これらの単語ファミリーをまとめて覚えると効果的です。`a legal resident`（合法的な居住者）。

9.

解答 ④

【解説】

正解は④「化石」です。`fossil`は、大昔の動植物が地層の中に残した痕跡を意味する名詞です。`They found a fossil of a dinosaur.`（彼らは恐竜の化石を発見した）。①「燃料」は`fuel`、②「霧」は`fog`、③「柔軟な」は形容詞の`flexible`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`fossil fuel`で「化石燃料」（石炭、石油、天然ガスなど）という、環境問題の文脈で非常に重要な複合語になります。`fossil record`は「化石の記録」を意味します。

10.

解答 ①

【解説】

「difference」は、「違い」「相違（点）」を意味する名詞です。2 つ以上の物事を比べたときに、同じでない部分を指します。したがって、正解は①です。②「困難」は *difficulty*、③「発見」は *discovery*、④「方向」は *direction* という単語が対応します。これらは全て基本的な名詞ですので、しっかり区別できるようにしましょう。

◆補足：`difference` は形容詞 `different`（違う、異なる）の名詞形です。`the difference between A and B` で「A と B の違い」という形でよく使われます。また、`make a difference` は「変化をもたらす、重要である」という意味の重要な熟語です。例文: `What's the difference between these two cameras?`（これら 2 つのカメラの違いは何ですか？）。

11.

解答 ④

【解説】

正解は④「2 人 1 組で」です。`in pairs` は、「ペアで、2 人 1 組で」という意味の熟語です。`pair` は「一対、一組」を意味する名詞です。`For this activity, please work in pairs.`（この活動では、2 人 1 組で作業してください）。①「順番に」は `in turn`、②「危険な状態で」は `in danger`、③「困難な状態で」は `in trouble` がそれぞれ適切な表現です。

◆補足：`a pair of ~` の形で「一組の～」と数えるのにも使われます。`a pair of gloves`（一組の手袋）、`a pair of trousers`（ズボン一着）。

12.

解答 ②

【解説】

正解は②「恐竜」です。`dinosaur` は、中生代に生息していた大型の爬虫類を指す名詞です。`The museum has a large collection of dinosaur fossils.`（その博物館は大規模な恐竜の化石のコレクションを所蔵している）。①「ドラゴン」は `dragon`、③「日記」は `diary`、④「ダイヤモンド」は `diamond` がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`dinosaur` は、ギリシャ語の `deinos`（恐ろしい）と `sauros`（とかげ）を組み合わせた言葉に由来します。

13.

解答 ①

【解説】

「moreover」は、前に述べた事柄に加えて、さらに情報を付け加えるときに使う接続副詞で、「その上」「さらに」という意味です。文と文をつなぐ働きをします。したがって正解は①です。②「しかしながら」は逆の内容を述べるときに使う **however** などが相当します。③「したがって」は原因と結果の関係を示す **therefore** などが当てはまります。④「たとえば」は具体的な例を挙げるときに使う **for example** などが相当します。このように、文と文の関係性を示す接続副詞は、それぞれ意味がはっきり違うので、正確に覚えておきましょう。

◆補足：「moreover」は少し硬い表現で、書き言葉でよく使われます。同じ「その上」という意味で、より口語的な表現には「in addition」や「besides」「furthermore」などがあります。例文: The book is interesting. Moreover, it is easy to read. (その本は面白い。その上、読みやすい。)

14.

解答 ①

【解説】

正解は①「～に乗り遅れる、～がいなくて寂しく思う」です。`miss`は多くの意味を持つ動詞です。準2級レベルでは、①「(電車・バスなど)に乗り遅れる、～をしそこなう」、②「～がいなくて寂しく思う、～が恋しい」という二つの意味が特に重要です。`If you miss this chance, you may not get another one.` (もしこの機会を逃したら、二度目はないかもしれない)。`I've missed you so much.` (あなたに会えなくて、とても寂しかったです)。②「～をを混ぜる」は`mix`、③「～を意味する」は`mean`、④「～を修理する」は`mend`や`repair`です。

◆補足：「(的など)に当たらない、外す」という意味もあります。`The player shot at the goal, but missed.` (その選手はゴールを狙ってシュートしたが、外した)。

15.

解答 ③

【解説】

「location」は、特定の「場所」「位置」「所在地」を意味する名詞です。建物や店がある場所や、地理的な位置などを指します。したがって、正解は③「場所」です。①「休暇」は **vacation**、②「職業」、特に天職を意味するのは **vocation**、④「解決策」は **solution** です。特に **location**, **vacation**, **vocation** は音が似ているので区別できるようにしましょう。

◆補足：`location` は `place` や `spot` と似ていますが、より具体的で、地図上で示せるような「位置」というニュアンスが強いです。動詞形は `locate` (～の場所を突き止める、～を置く) です。例文: `This is a good location for a new store.` (ここは新しい店を出すのに良い場所だ)。

16.

解答 ②

【解説】

英単語「company」の最も一般的な意味は、事業を行う組織、つまり「会社」です。したがって、正解は②「会社」となります。①「競争」は competition、③「比較」は comparison、④「快適さ」は comfort という単語がそれぞれ対応します。company には「仲間」や「一緒にいること」という意味もありますが、文脈からどちらの意味かを判断することが大切です。

◆補足：「仲間」という意味では、`keep someone company`（(人)に付き合う、一緒にいてあげる）という表現がよく使われます。例: `I'll keep you company until your bus comes.`（バスが来るまで一緒にいるよ）。会社の「同僚」は `colleague` や `co-worker` と言うのが一般的です。

17.

解答 ①

【解説】

正解は①の `mayor` で、市（`city`）や町（`town`）の行政の長である「市長、町長」を意味します。`The mayor promised to improve public transportation.`（市長は公共交通機関を改善すると約束した）。他の選択肢は、② `major` が「主要な」や「専攻」、③ `layer` が「層」、④ `player` が「選手」という意味で、発音が似ていますが意味は異なります。

◆補足：女性の市長も `mayor` と呼びます。知事は `governor`、大統領は `president`、首相は `prime minister` です。

18.

解答 ①

【解説】

正解は①の `necessary` で、「必要な、不可欠な」という意味の形容詞です。何かをするために、あるいはある状態であるために欠かせないことを示します。`It is necessary to get a visa to enter that country.`（その国に入国するにはビザを取得することが必要だ）。他の選択肢は、② `unnecessary` が `necessary` の対義語で「不必要な」、③ `accessory` が「付属品」、④ `successive` が「連続する」という意味です。

◆補足：`It is necessary for 人 to do ...` の形で「(人)が～することは必要だ」という構文をよく作ります。`It is necessary for children to get enough sleep.`（子供が十分な睡眠をとることは必要だ）。名詞形は `necessity`（必要性、必需品）です。

19.

解答 ③

【解説】

「bottom」は、物事の一番下の部分、つまり「底」や「底部」を意味する名詞です。したがって、正解は③「底」です。この問題のポイントは、②「頂上」を意味する `top` との区別です。`bottom` と `top` は正反対の意味を持つ単語なので、必ずセットで覚えましょう。①「ボタン」は button、④「瓶」は bottle で、`bottom` と音が似ているので聞き間違いなどにも注意が必要です。

◆補足：`at the bottom of ...` の形で「…の底に」と表現されます。形容詞として「一番下の」という意味で使われることもあります（例：`the bottom line` 最下段の行、要点）。

20.

解答 ③

【解説】

正解は③「自然の、生まれつきの」です。`natural` は形容詞で、人の手が加わっていない、ありのままの状態や、努力して身につけたものではなく、もともと持っている才能や性質を指します。`He is a natural athlete.`（彼は天性の運動選手だ）。`It is natural to feel nervous before an exam.`（試験の前に緊張するのは自然なことだ）。①「国の」は `national`、②「合理的な」は `rational`、④「中立的な」は `neutral` です。

◆補足：`natural` は名詞の `nature`（自然）から派生した言葉です。副詞形は `naturally`（自然に、当然）となります。コロケーションとしては `natural disaster`（自然災害）、`natural resources`（天然資源）、`natural talent`（天賦の才）などがあります。

21.

解答 ②

【解説】

「creation」は、「創造、創作」という行為や、それによって生み出された「創造物」を意味する名詞です。動詞 `create`（～を創造する）の名詞形です。したがって、正解は②「創造」です。①「生き物」は creature で、同じく `create` から派生した単語ですが、意味が異なるので注意が必要です。③「状況」は situation、④「関係」は relation が対応します。

◆補足：`the Creation` のように大文字で始めると、神による「天地創造」を意味します。`job creation` で「雇用創出」のように、新しいものを生み出すこと全般に使われます。例文：`This wonderful building is the creation of a famous architect.`（この素晴らしい建物は有名な建築家の創造物だ）。

22.

解答 ②

【解説】

正解は②「詳細に」です。`in detail`は、「詳しく、細部にわたって」という意味の副詞句です。物事の細かい部分まで、省略せずに説明したり、調べたりする様子を表します。`The witness described the suspect in detail.`（その目撃者は容疑者の人相を詳細に述べた）。①「要するに」は`in short`、③「実際には」は`in practice`、④「順番に」は`in turn`がそれぞれ適切な表現です。

◆補足：名詞の`detail`（詳細）を使った表現です。`Could you give me more details?`（もう少し詳細を教えてくださいませんか？）。

23.

解答 ④

【解説】

正解は④の`predict`で、「～を予測する、予言する」という意味の動詞です。未来に何が起こるかを、現在の情報や知識に基づいて推測することを表します。`No one can predict exactly when an earthquake will occur.`（いつ地震が起こるかを正確に予測できる人は誰もいない）。他の選択肢は、①`pretend`が「～のふりをする」、②`protect`が「～を保護する」、③`precede`が「～に先行する」という意味です。

◆補足：名詞形は`prediction`（予測、予言）です。類義語の`forecast`は主に天気や経済の予報で使われますが、`predict`はより幅広い事柄の予測に使えます。

24.

解答 ②

【解説】

正解は②の`alone`で、「一人で、ただ一人で、孤独で」という意味の形容詞・副詞です。他に誰もいない、物理的な状態を表します。`I want to be alone for a while to think.`（考えるために、しばらく一人になりたい）。他の選択肢は、①`lonely`が「(精神的に) 寂しい」、③`own`が「自分自身の」、④`along`が前置詞で「～に沿って」という意味です。

◆補足：`alone`（一人での状態）と`lonely`（寂しいという感情）の違いは非常に重要です。一人でいても寂しいとは限りません。`I live alone, but I don't feel lonely.`（私は一人暮らしだが、寂しいとは感じない）。`leave ~ alone`で「～をそっとしておく」という熟語になります。

25.

解答 ①

【解説】

「particular」は、「特定の」や「特別の」という意味を持つ形容詞です。たくさんある選択肢の中から、ある一つを特に選び出して指し示すときに使われます。したがって、正解は①「特定の」です。②「人気のある」は popular、③「公共の」は public、④「個人的な」は personal や private という単語が対応します。これらは社会や個人に関する基本的な形容詞ですので、しっかり区別できるようにしましょう。

◆補足：`in particular` という形で、「特に」「とりわけ」という意味の副詞句としてよく使われます。これは `especially` とほぼ同じ意味です。例文: `I like all sports, but I like soccer in particular.` (私は全てのスポーツが好きですが、特にサッカーが好きです)。

26.

解答 ③

【解説】

「condition」は、物や人の「状態」「状況」を指す名詞です。また、契約などの「条件」という意味で使われることも非常に多いです。この問題では、最も基本的な意味である③「状態」が正解となります。①「感情」は feeling や emotion、②「意見」は opinion、④「関係」は relationship や relation という単語がそれぞれ対応します。condition は幅広い意味で使われる重要な単語なので、文脈に応じて意味を判断できるようになることが大切です。

◆補足：`in good condition` で「良い状態で」、`in bad condition` で「悪い状態で」というように、状態の良し悪しを表す際によく使われます。例文: `The used car was in very good condition.` (その中古車はとても良い状態だった)。「条件」という意味では、`on condition that ...` (…という条件で) という表現も重要です。

27.

解答 ①

【解説】

「so ～ that…」は、「とても～なので…だ」と原因・程度とその結果を表す非常に重要な構文です。`so` の後ろには形容詞か副詞が入り、`that` の後ろには結果を表す文（主語＋動詞）が続きます。したがって、正解は①です。③の「～するために…する」は `so that ...` や `in order to do` で表される「目的」の構文で、`so ... that` とは意味も形も異なるので注意が必要です。②は The 比較級, the 比較級、④は Although や Though の構文が対応します。

◆補足：例文: `He was so tired that he went to bed early.` (彼はとても疲れていたのに、早く寝た)。
`so` の代わりに `such` を使う構文 (`such a/an 形容詞 名詞 that ...`) もあり、「とても～な名詞なので…だ」という意味になります。例: `It was such a beautiful day that we went for a picnic.` (とても良い天気だったので、私たちはピクニックに行った)。

28.

解答 ②

【解説】

正解は②「子犬」です。`puppy`は、若い犬、特に1歳未満の犬を指す名詞です。`We are looking for a new home for these puppies.`（私たちはこれらの子犬たちのために新しい家を探している）。①「子猫」は`kitten`、③「人形」は`doll`、④「ペット」は`pet`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：複数形は`puppies`と、`y`を`ies`に変える形になります。`puppy love`で「(子供の)初恋」を意味することもあります。

29.

解答 ②

【解説】

名詞「record」は、文字や音声、映像などで保存された情報、すなわち「記録」や「登録」を意味します。スポーツの「記録」や、音楽の「レコード」もこの単語から来ています。したがって、正解は②「記録」です。①「報告」は`report`、③「報酬」は`reward`、④「回復」は`recovery`という単語がそれぞれ対応します。

◆補足：`record`は動詞として「～を記録する、録音・録画する」という意味でも使われます。名詞の場合は前の`re`に、動詞の場合は後ろの`cord`にアクセントが置かれるのが一般的です。`break a record`で「記録を破る」、`keep a record`で「記録をつける」という表現もよく使われます。

30.

解答 ②

【解説】

「push」は、「～を押す」という意味の最も基本的な動詞です。ドアやボタンなどを押す動作を表します。したがって、正解は②「押す」です。この問題のポイントは、①「引く」を意味する`pull`との区別です。`push`と`pull`はドアなどでよく対で使われる反対語なので、必ずセットで覚えましょう。③「置く」は`put`、④「遊ぶ」は`play`が対応します。

◆補足：比喩的に「(人)に圧力をかける、強要する」という意味でも使われます。例: `Don't push me so hard.`（そんなにせかさないでください）。名詞として「押し」という意味もあります。

31.

解答 ③

【解説】

正解は③の`originally`で、「もともとは」「最初は」「本来は」という意味の副詞です。物事の起源や、過去と現在の変化を述べるときによく使われます。①の`gradually`は「徐々に、だんだんと」、②の

especially は「特に、とりわけ」、④の recently は「最近」という意味です。これらは文中で重要な役割を果たす副詞ですので、それぞれの意味を正確に把握しておくことが大切です。

◆補足：`originally` は名詞 `origin` (起源) や形容詞 `original` (最初の、独創的な) の仲間です。セットで覚えると効率的です。例文: `This building was originally a school.` (この建物はもともと学校でした)。

32.

解答 ①

【解説】

正解は①の daily で、「毎日の」「日々の」という意味の形容詞です。名詞 `day` (日) に `-ly` がついてできています。この問題の選択肢はすべて期間を表す名詞に `-ly` がついた形で、それぞれ② weekly は「毎週の」、③ monthly は「毎月の」、④ yearly は「毎年の」という意味になります。これらはセットで覚えておくと非常に便利です。

◆補足：`daily` は副詞として「毎日」という意味でも使われます。また、名詞として「日刊紙」を指すこともあります。`daily life` (日常生活) や `daily routine` (日課) といった形でよく使われます。例文: `Exercise should be a part of your daily routine.` (運動は毎日の日課の一部であるべきです)。

33.

解答 ④

【解説】

正解は④の cattle で、集合的に「牛」、特に食用や乳用に飼育されるウシ類を指す名詞です。常に複数扱いとなるのが特徴で、`a cattle` や `cattles` という形では使いません。①の castle は「城」、②の kettle は「やかん」、③の battle は「戦闘」という意味です。いずれも音が似ているので、スペルと意味を正確に結びつけて覚えましょう。

◆補足：1頭の雌牛は `cow`、雄牛は `bull` や `ox` と言います。`cattle` はこれらの総称と考えるとよいでしょう。例文: `The farmer keeps a lot of cattle on his farm.` (その農家は農場でたくさんの牛を飼っている)。

34.

解答 ①

【解説】

正解は①の imagine です。「～を想像する、心に思い描く」という意味の動詞です。実際に見ていないものや、まだ起こっていないことなどを頭の中で作り上げる様子を表します。②の express は「(感情や考え)を表現する」、③の explain は「～を説明する」、④の invent は「～を発明する」という意

味です。invent は新しいものを「想像」して作り出すので関連はありますが、「想像する」という行為そのものを指す imagine とは異なります。

◆補足：`imagine` の名詞形は `imagination` (想像、想像力) です。`Can you imagine ...?` (…を想像できますか?) という形でよく使われます。例文: `Imagine a world without the Internet.` (インターネットのない世界を想像してみてください)。

35.

解答 ④

【解説】

形容詞「flat」は、表面に凹凸がなく「平らな、平坦な」状態を表します。したがって、正解は④「平らな」です。②「太い」は fat で、flat と音が似ているので混同しないようにしましょう。②「自由な」は free、③「いっぱい」は full です。

◆補足：`flat` には「(タイヤが)パンクした」という意味もあります。例: `a flat tire`。また、イギリス英語では名詞として「アパート (の一室)」を意味します (アメリカ英語では `apartment`)。例文: `You need a large, flat surface to build the model.` (その模型を組み立てるには、広くて平らな面が必要です)。

36.

解答 ④

【解説】

「weather」は、特定の時間・場所における大気の状態、つまり「天気」や「天候」を意味します。したがって、正解は④です。①の climate は「気候」を意味し、長期間にわたる平均的な天気のパターンを指します。`weather` と `climate` の違いは頻出なので、必ず押さえましょう。②の feather は「(鳥の)羽」、③の leather は「革、レザー」という意味で、スペルが似ているので注意が必要です。

◆補足：`weather forecast` は「天気予報」です。動詞として「(困難など)を切り抜ける、乗り越える」という意味で使われることもあります。例文: `The weather is nice today.` (今日は天気が良い)。

37.

解答 ②

【解説】

正解は②の harmful で、「有害な、害を及ぼす」という意味の形容詞です。名詞 `harm` (害) に `ful` (～に満ちた) がついてできています。`be harmful to ...` の形で「…にとって有害である」と表現されます。①の helpful は「助けになる、役立つ」という意味で、harmful の反対語です。③の

hopeful は「希望に満ちた」、④の careful は「注意深い」という意味です。`-ful` で終わる形容詞はたくさんあるので、それぞれの意味を正確に覚えましょう。

◆補足：類義語に `dangerous` (危険な) がありますが、`harmful` は健康や環境などへの「害」に焦点を当ててるのに対し、`dangerous` は事故や怪我につながる「危険」に焦点を当てるというニュアンスの違いがあります。例文: `Smoking is harmful to your health.` (喫煙は健康に有害です)。

38.

解答 ②

【解説】

正解は②「可能な」です。`possible` は形容詞で、物事が起こりうること、あるいは実行できることを示します。`Please come as early as possible.` (できるだけ早く来てください)。①「不可能な」は `impossible` で、否定の接頭辞 `im-` が付いた対義語です。③「所有格の」は `possessive`、④「受動的な」は `passive` がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`It is possible to do` や `It is possible that ...` の構文でよく使われます。`Is it possible to change my reservation?` (予約を変更することは可能ですか?)。名詞形は `possibility` (可能性) です。

39.

解答 ②

【解説】

正解は②の `surprisingly` で、「驚いたことに、意外にも」という意味の副詞です。予想と違う、驚くべき事実であることを示します。文頭に置かれて文全体を修飾することが多いです。`His new book was surprisingly interesting.` (彼の新しい本は、驚くほど面白かった)。他の選択肢は、① `surely` が「確かに」、③ `suddenly` が「突然に」、④ `separately` が「別々に」という意味です。

◆補足：`surprisingly` は、形容詞 `surprising` (驚くべき) の副詞形です。動詞 `surprise` (～を驚かせる) → 形容詞 `surprising` / `surprised` → 副詞 `surprisingly` という単語のファミリーを意識すると良いでしょう。

40.

解答 ④

【解説】

正解は④「～しそうな、ありそうな」です。`likely` は形容詞・副詞として、何かが起こる可能性が高いことを示します。`be likely to do` の形で「～しそうである」と表現するのが一般的です。`The new project is likely to succeed.` (その新しいプロジェクトは成功しそうだ)。①と②は `like`、③「生き生きした」は `lively` です。これらは形が似ていますが、意味は全く異なります。

◆補足：対義語は`unlikely`（～しそうにない）です。`It is likely that ...`という構文もよく使われます。`It is likely that we will have more rain this week.`（今週はさらに雨が降りそうだ）。`probably`（おそらく）と意味が似ていますが、`likely`は形容詞なので、使い方に注意が必要です。

41.

解答 ①

【解説】

正解は①の`clear`で、主に二つの意味を持つ形容詞です。一つは、空や水、ガラスなどが「晴れた、澄んだ、透明な」状態であることです。もう一つは、意味や説明、指示などが「明らかな、わかりやすい」ことです。`On a clear day, you can see the mountains.`（晴れた日には、その山々が見える）。`Are the instructions clear enough?`（指示は十分に明確ですか？）。他の選択肢は、②`clean`が「清潔な」、③`close`が「近い」、④`clever`が「利口な」という意味です。

◆補足：`clear`は動詞として「～を片付ける、きれいにする」や「(障害物など)を取り除く」という意味もあります。`It took hours to clear the road after the accident.`（事故の後、道路を通れるようにするのに何時間もかかった）。

42.

解答 ①

【解説】

英単語「attention」は、「注意」や「注目」という意味を持つ名詞です。前の問題で出てきた`pay attention to ~`という熟語で使われているように、何かに関心や意識を向けることを指します。したがって、正解は①「注意」です。②「態度」は attitude、③「到着」は arrival、④「魅力」は attraction という単語がそれぞれ対応します。いずれも`att-`で始まるので混同しないようにしましょう。

◆補足：`Attention, please.`は「ご注意ください」という意味で、空港や駅などのアナウンスでよく聞かれる表現です。また、`center of attention`で「注目の的」という意味になります。

43.

解答 ①

【解説】

正解は①の`forecast`で、名詞として「予報、予測」、動詞として「～を予報する、予測する」という二つの意味があります。特に天気や経済の今後の動向について使われます。`According to the weather forecast, it will be sunny tomorrow.`（天気予報によると、明日は晴れるでしょう）。他の選択肢は、②`broadcast`が「放送」や「～を放送する」、③`breakfast`が「朝食」、④`forehead`が「額（ひたい）」という意味です。

◆補足：`fore-`は「前もって」、`cast`は「投げる」という意味です。「前もって（情報を）投げる」から「予報する」という意味につながっています。動詞の活用は`forecast - forecast - forecast`（または-ed 形）と、変化しない形が一般的です。

44.

解答 ②

【解説】

「atmosphere」は、地球を覆っている空気の層、つまり「大気」や「大気圏」を指すのが主な意味です。また、特定の場所が持つ「雰囲気」という意味でも非常によく使われます。この問題では、より科学的な意味である②「大気」が正解となります。①「冒険」は *adventure*、③「態度」は *attitude*、④「高度」は *altitude* という単語がそれぞれ対応します。

◆補足：「雰囲気」という意味では、`a friendly atmosphere`（親しみやすい雰囲気）や `a tense atmosphere`（緊迫した雰囲気）のように使われます。例文（大気）：`Pollution is damaging the Earth's atmosphere.`（汚染が地球の大気を損なっている）。例文（雰囲気）：`The restaurant has a relaxed atmosphere.`（そのレストランはくつろいだ雰囲気だ）。

45.

解答 ③

【解説】

正解は③「～だと主張する、（当然の権利として）～を要求する」です。動詞の`claim`は、主に二つの意味があります。一つは、証拠がなくても、何かが事実であると「～だと主張する、断言する」という意味です。もう一つは、自分の権利として、お金や所有物などを「～を要求する、請求する」という意味です。`The company claims that its product is the best on the market.`（その会社は自社製品が市場で最高だと主張している）。①「～を叫ぶ」は`shout`、②「～を非難する」は`blame`、④「～を登る」は`climb`です。

◆補足：`claim`は名詞として「主張、要求」という意味でも使われます。`make a claim`（要求を出す）。`insurance claim`（保険金請求）。

46.

解答 ③

【解説】

正解は③の *danger* で、「危険」や「危機」を意味する最も一般的な名詞です。身体的な危害やよくない事態が起こる可能性を指します。①の *anger* は「怒り」、②の *stranger* は「見知らぬ人」や「不慣れな人」、④の *damage* は「損害、被害」という意味です。特に *danger* と *anger* はスペルが似てい

るので、混同しないように注意が必要です。`in danger` で「危険な状態で」という重要な表現になります。

◆補足：派生語には `dangerous`（形容詞：危険な）があります。`Danger!` は危険な場所を示す看板などにも書かれている言葉です。類義語に `risk` がありますが、`danger` は直接的で具体的な危険を、`risk` は将来起こるかもしれない潜在的な危険や、自ら引き受ける危険というニュアンスで使われることが多いです。

47.

解答 ①

【解説】

正解は①の **true** で、「本当の、真実の、事実に基づいた」という意味の基本的な形容詞です。作り話や嘘ではないことを示します。②の **free** は「自由な、無料の」、③の **new** は「新しい」、④の **due** は「(支払) 期日で」や「～が原因で」(**due to** ~)といった意味で使われます。

◆補足：`true` の反対語は `false`（間違った、偽りの）です。名詞形は `truth`（真実）。`come true` は「(夢などが) 実現する」という意味の重要な熟語です。例文: `Is it true that you are moving to another city?`（あなたが他の街に引っ越すというのは本当ですか?）。

48.

解答 ①

【解説】

「**occur**」は、「(予期しない出来事が) 起こる、生じる」という意味の動詞です。`happen` と意味が似ていますが、**occur** の方が少し硬い響きがあり、より公式な文脈で使われることが多いです。したがって、正解は①「起こる」です。②「占める」は **occupy**、③「提案する」は **offer** や **suggest**、④「反対する」は **oppose** という単語が対応します。

◆補足：`It occurs to someone that ...` の形で、「…という考えが(人)の心に浮かぶ」という意味の重要な構文があります。例: `It suddenly occurred to me that I had left my wallet at home.`（家に財布を忘れてきたことがふと頭に浮かんだ）。名詞形は `occurrence`（出来事、発生）です。

49.

解答 ④

【解説】

「**planet**」は、太陽のような恒星の周りを公転する天体、すなわち「惑星」を意味します。したがって、正解は④「惑星」です。この問題の選択肢は、いずれも `planet` とスペルや音が似ていて間違いやすい単語です。①「植物」は **plant**、②「計画」は **plan**、③「飛行機」は **plane** です。これらの単語は基本的なものばかりなので、しっかり区別して覚えましょう。

◆補足：私たちが住んでいる地球も惑星の一つなので、`the planet` と言うと地球のことを指すことがよくあります。例文: `Earth is the third planet from the Sun.` (地球は太陽から 3 番目の惑星です)。

50.

解答 ①

【解説】

正解は①の`for instance`で、「例えば」という意味です。前に述べたことの具体的な例を挙げるときに使う表現です。`for example`と全く同じ意味で使うことができます。`Many countries face serious problems, for instance, poverty and pollution.` (多くの国が、例えば、貧困や汚染といった深刻な問題に直面している)。他の選択肢は、②`for a moment`が「少しの間」、③`for a while`が「しばらくの間」、④`for certain`が「確かに、間違いなく」という意味です。

◆補足：`for instance`は`for example`よりも、ややフォーマルな響きを持つことがあります。文頭、文中、文末のいずれにも置くことができます。
